

生活調べアンケート 第3回調査結果

実施目的

新型コロナウイルス感染症の影響により目まぐるしく社会状況・生活環境が変化する中で、児童生徒には様々な心身のストレスがかかっている可能性がある。そのため、児童生徒の心身の状態を捉え、学校生活への不適應の未然防止・早期発見をすべく「生活調べアンケート」を実施した。

対象

令和5年1月10日～1月24日（タブレットを使いGoogleフォームで回答）

実施期間

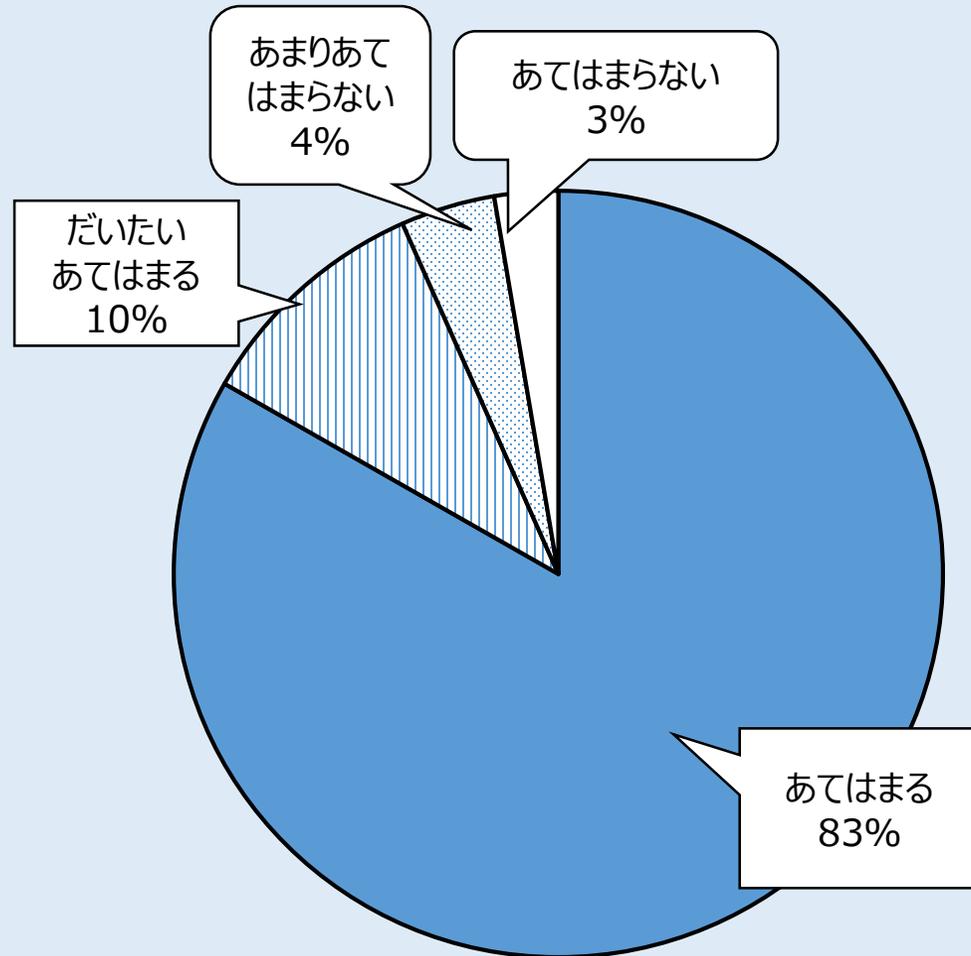
奈良市立学校 小学生（小1～小6）
中学生（中1～中3）

アンケート調査内容

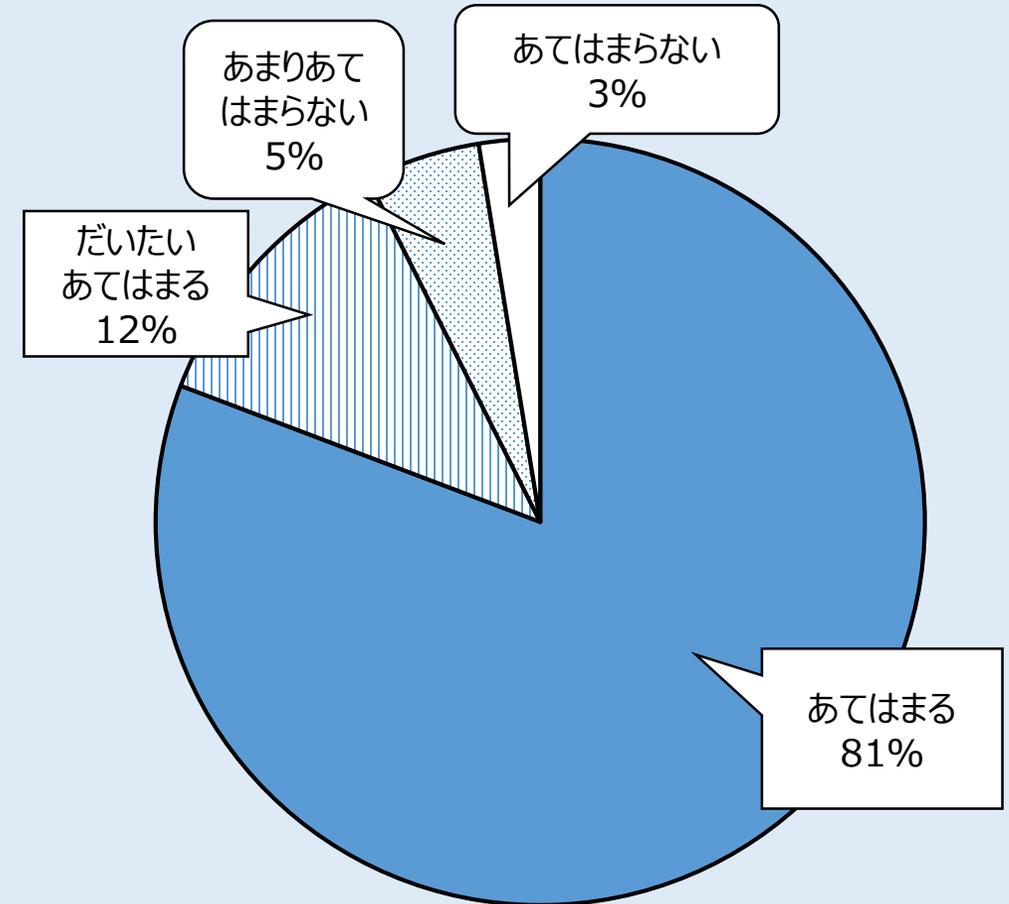
大項目	小項目
①気持ちの安定度について	5項目
②生活の安定度について	4項目
③困ったときにSOSが出せるかについて	2項目
④マスク着用について	1項目
質問1 朝ごはんや昼ごはんを食べている	
質問2 なかなか眠れないことがある	
質問3 勉強に集中できないことがある	
質問4 むしゃくしゃしたり、イライラしたり、かっとなったりする	
質問5 何事もやる気がおきない	
質問6 頭やお腹が痛いなど、体の調子が悪いことがある	
質問7 体を動かすなど、よく運動している	
質問8 毎日が楽しい	
質問9 悩みごとを話せる人や場がある	
質問10 困ったときに、学校の先生や家の人に頼ることができる	
質問11 学校や家で何か不安を感じたことがある	
質問12 常にマスクをしていないと不安である	

質問1 朝ごはんや昼ご飯を食べている

小学生

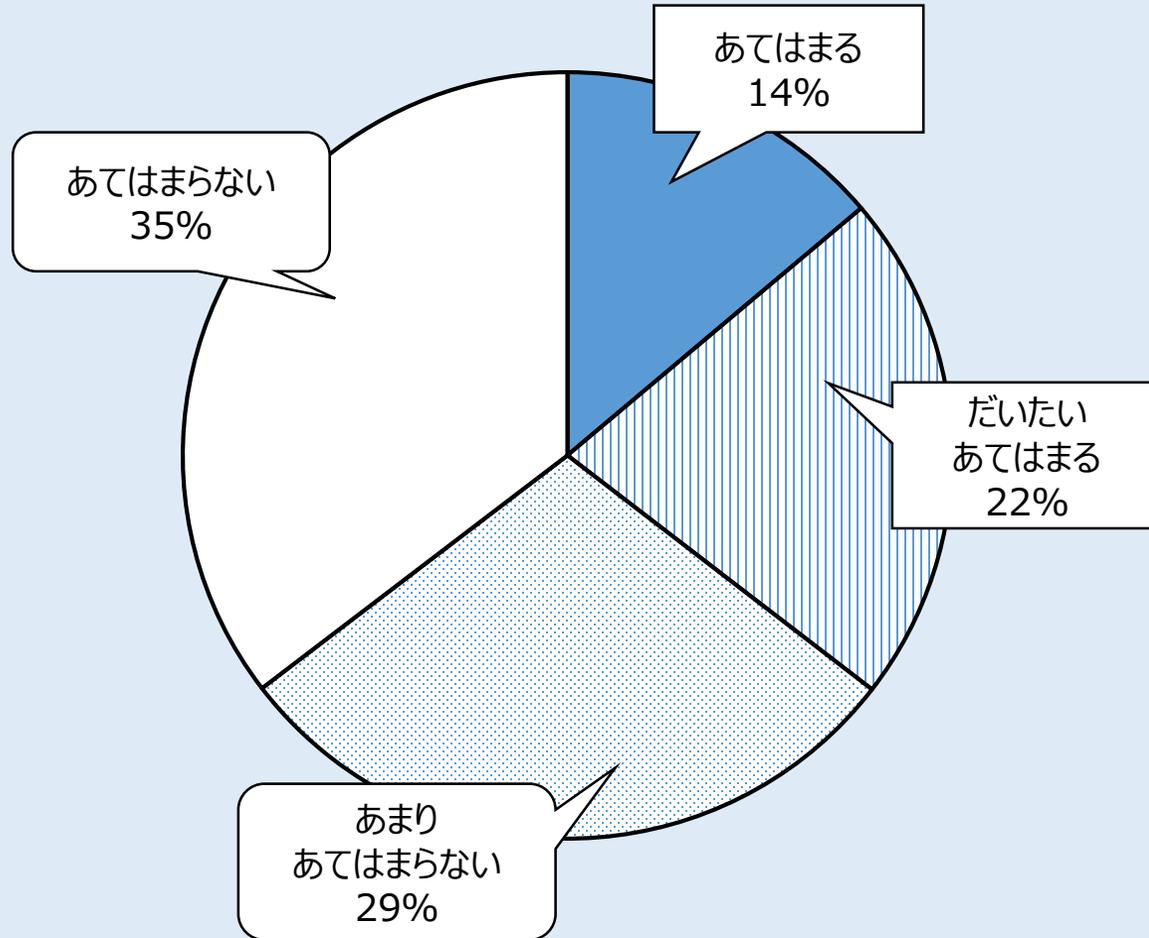


中学生

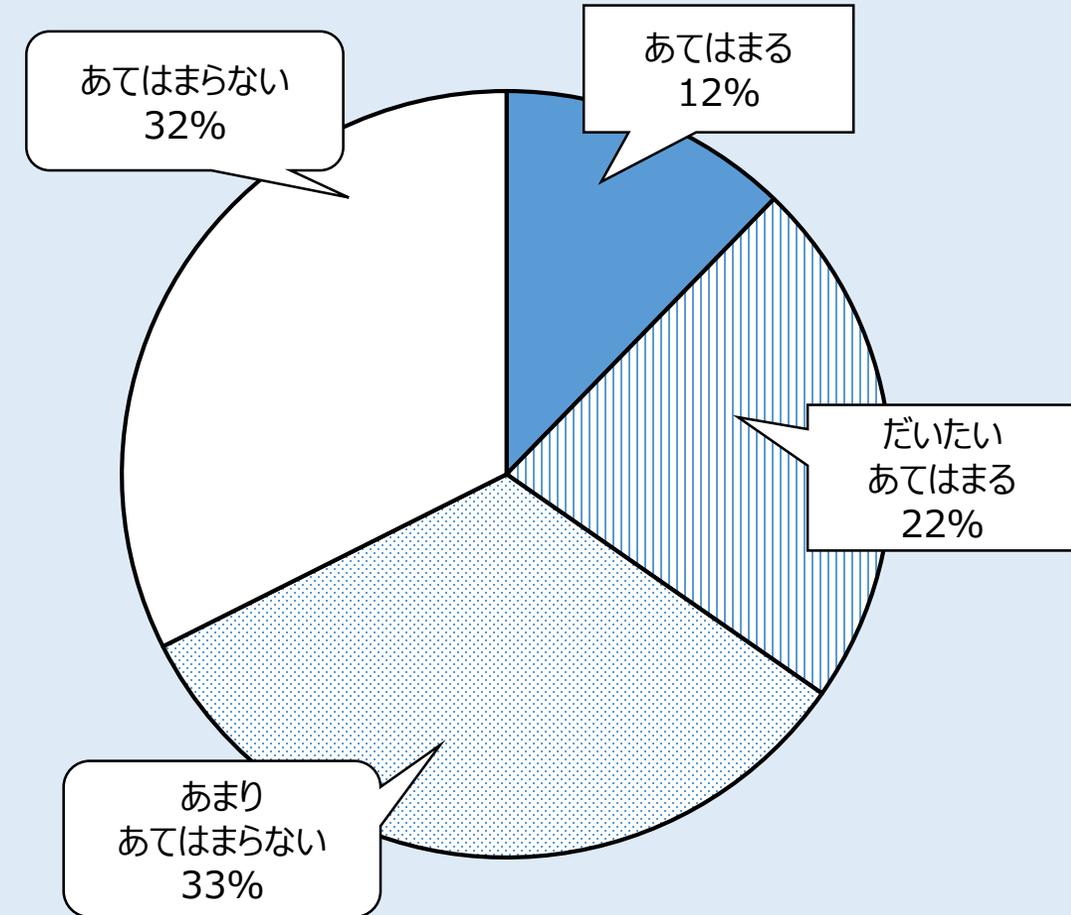


質問2 なかなか眠れないことがある

小学生

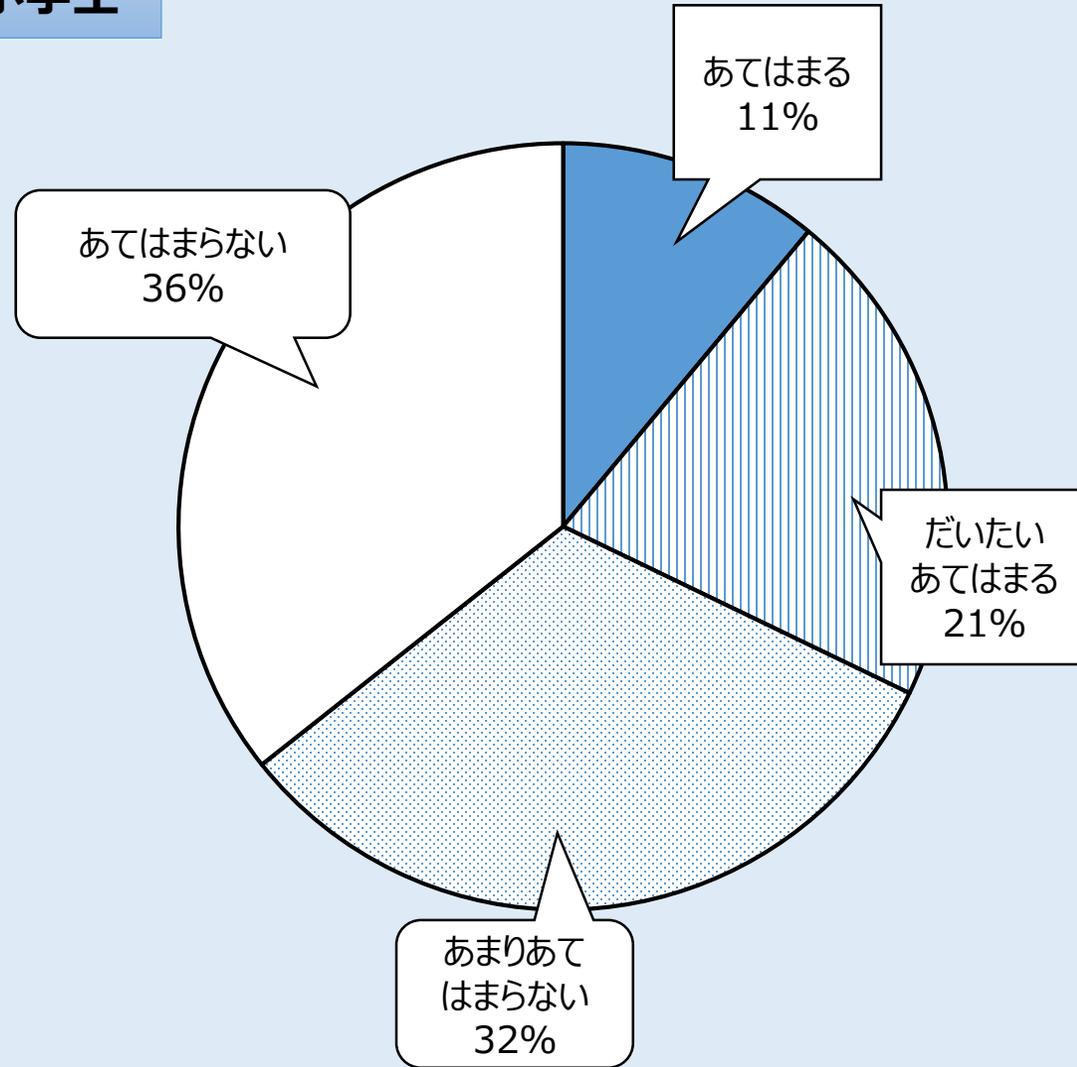


中学生

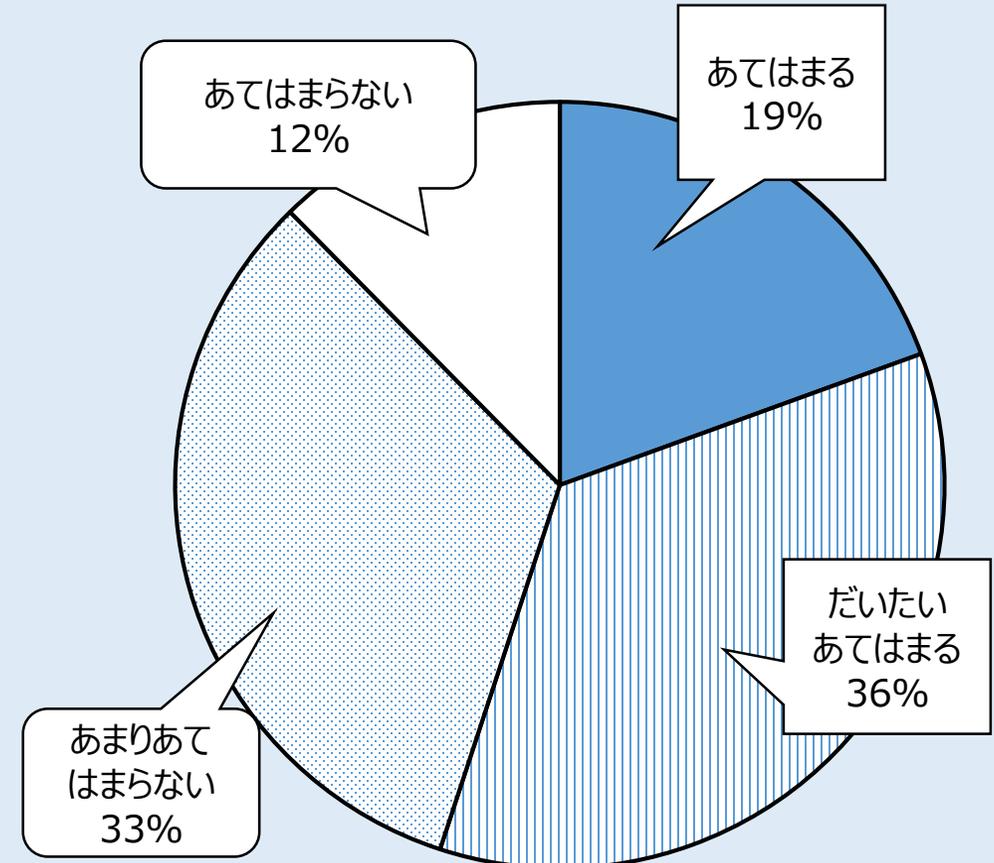


質問3 勉強に集中できない

小学生

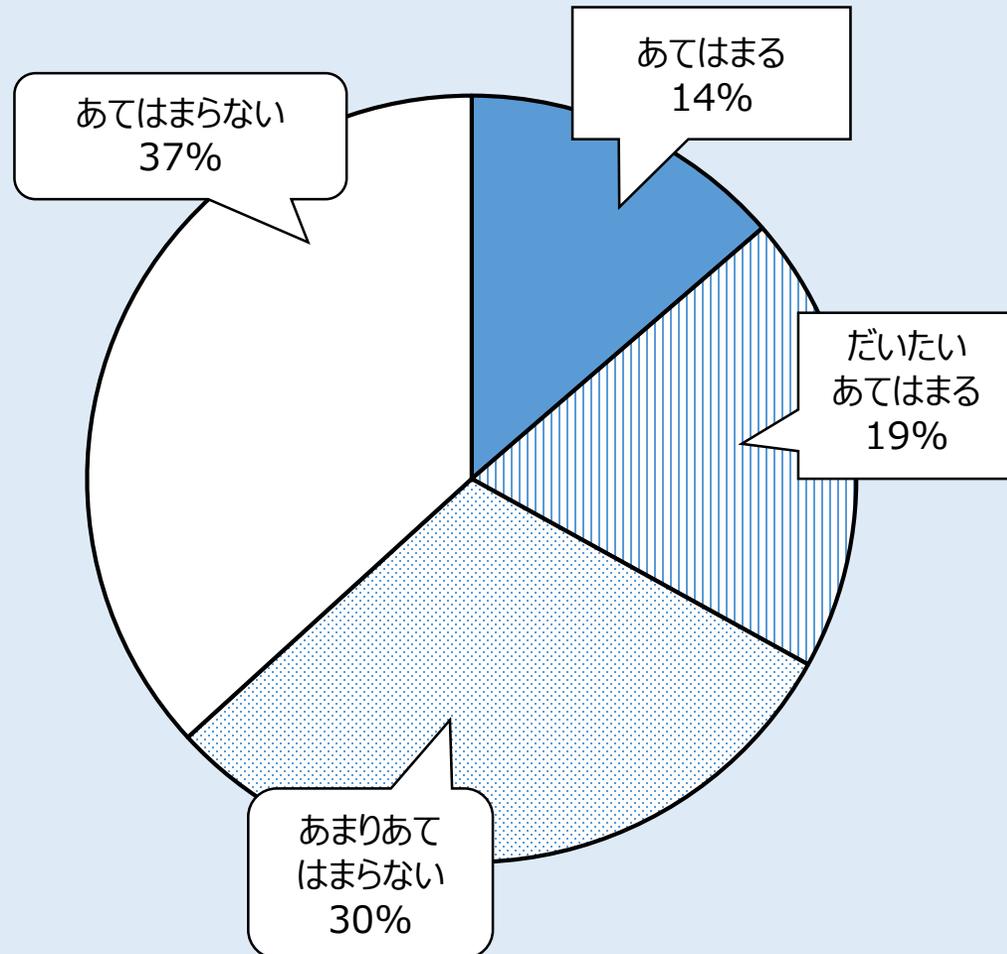


中学生

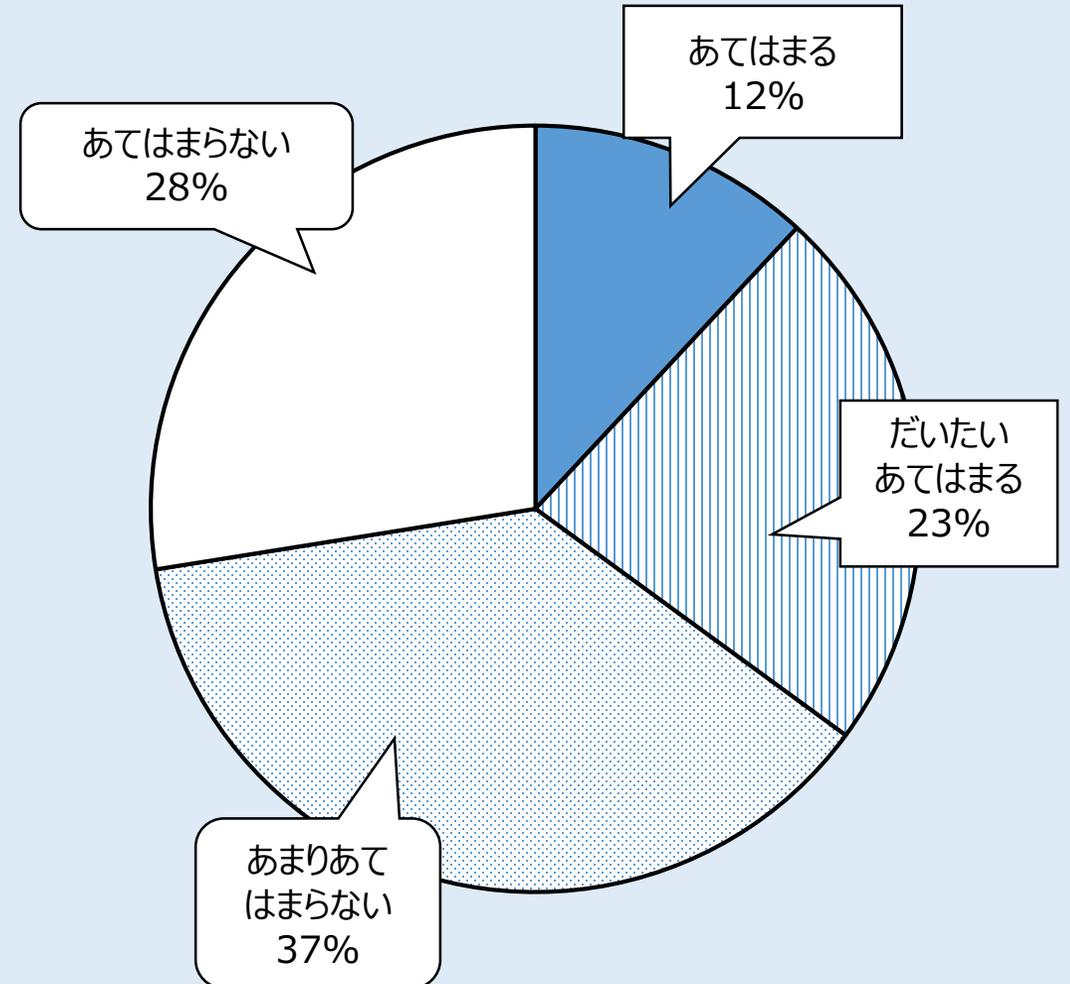


質問4 むしゃくしゃしたり、イライラしたり、カッとしたりする

小学生

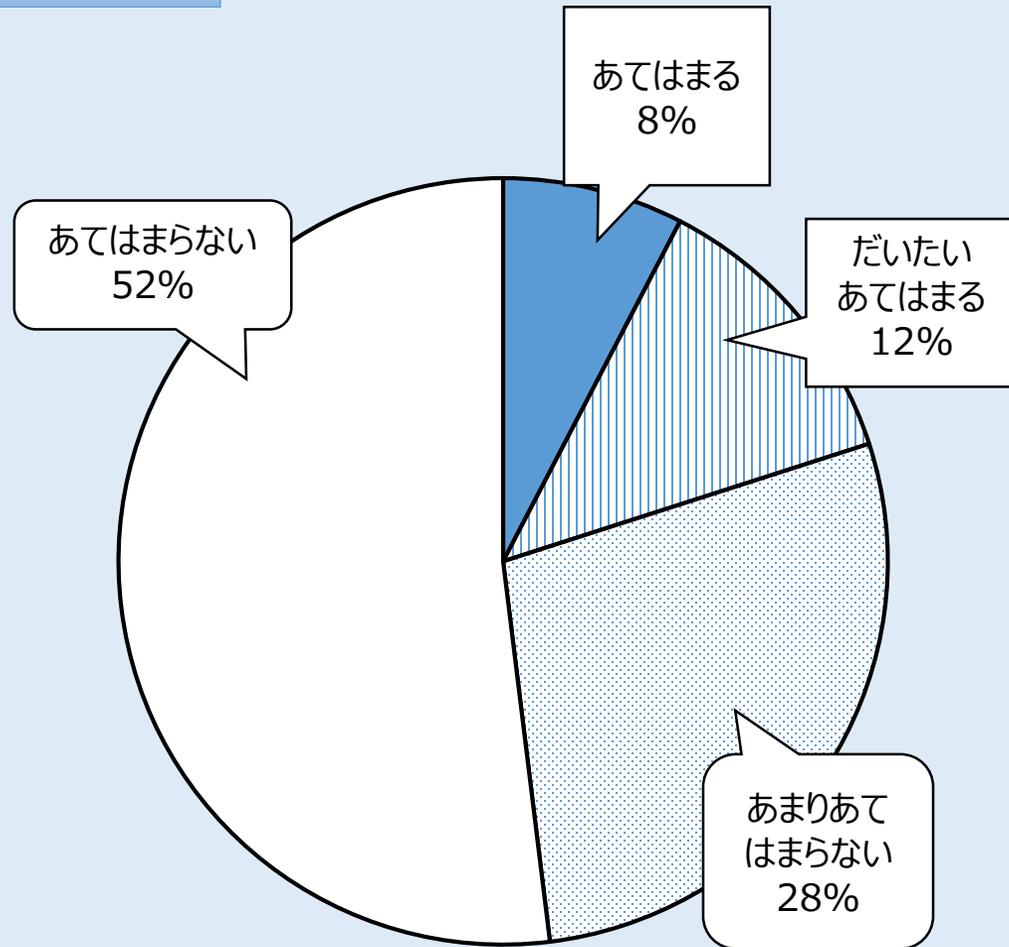


中学生

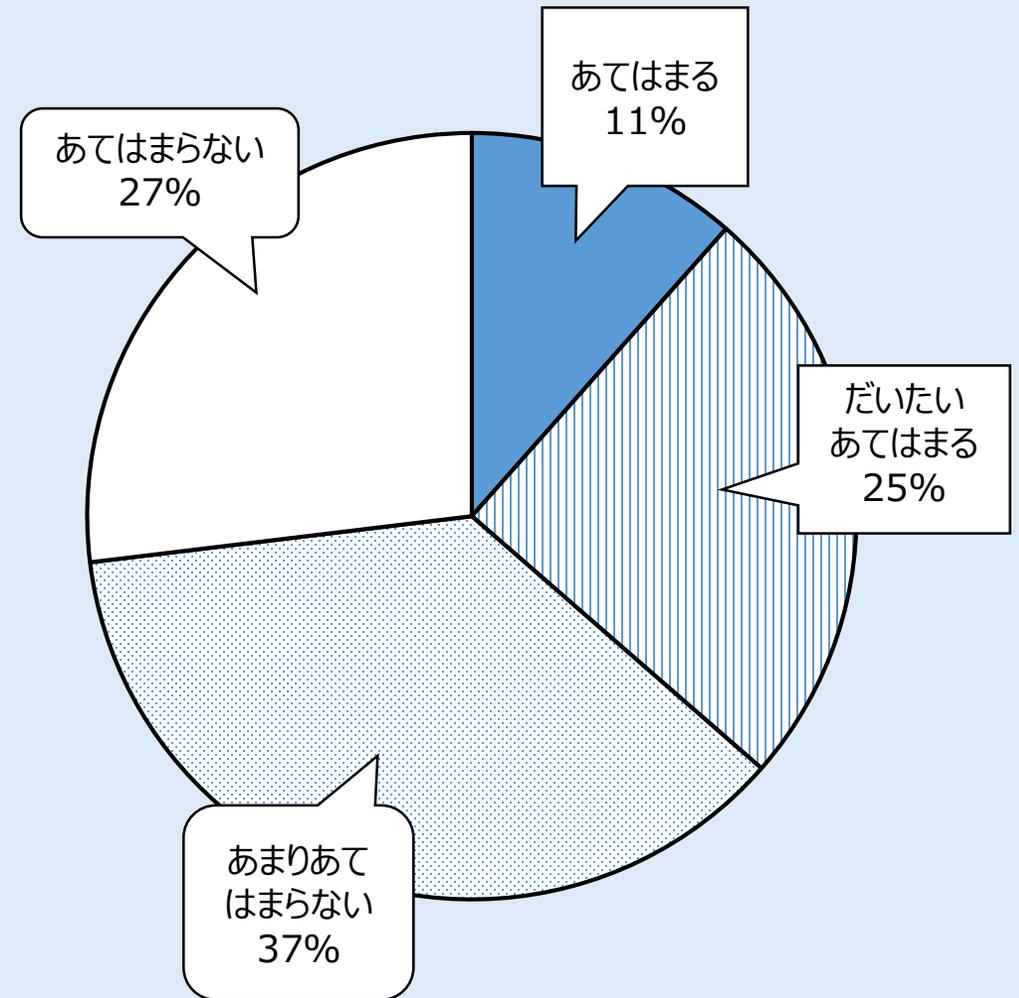


質問5 何事にもやる気がおきない

小学生

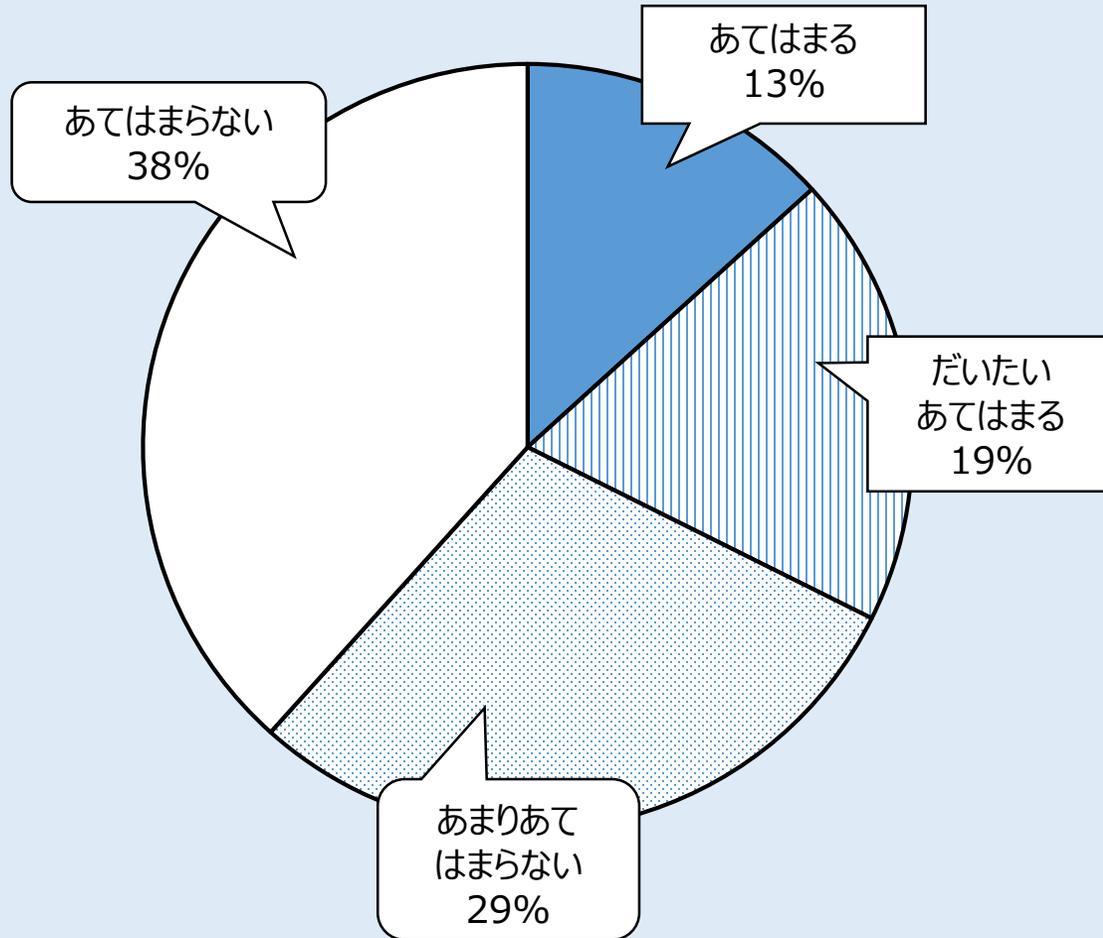


中学生

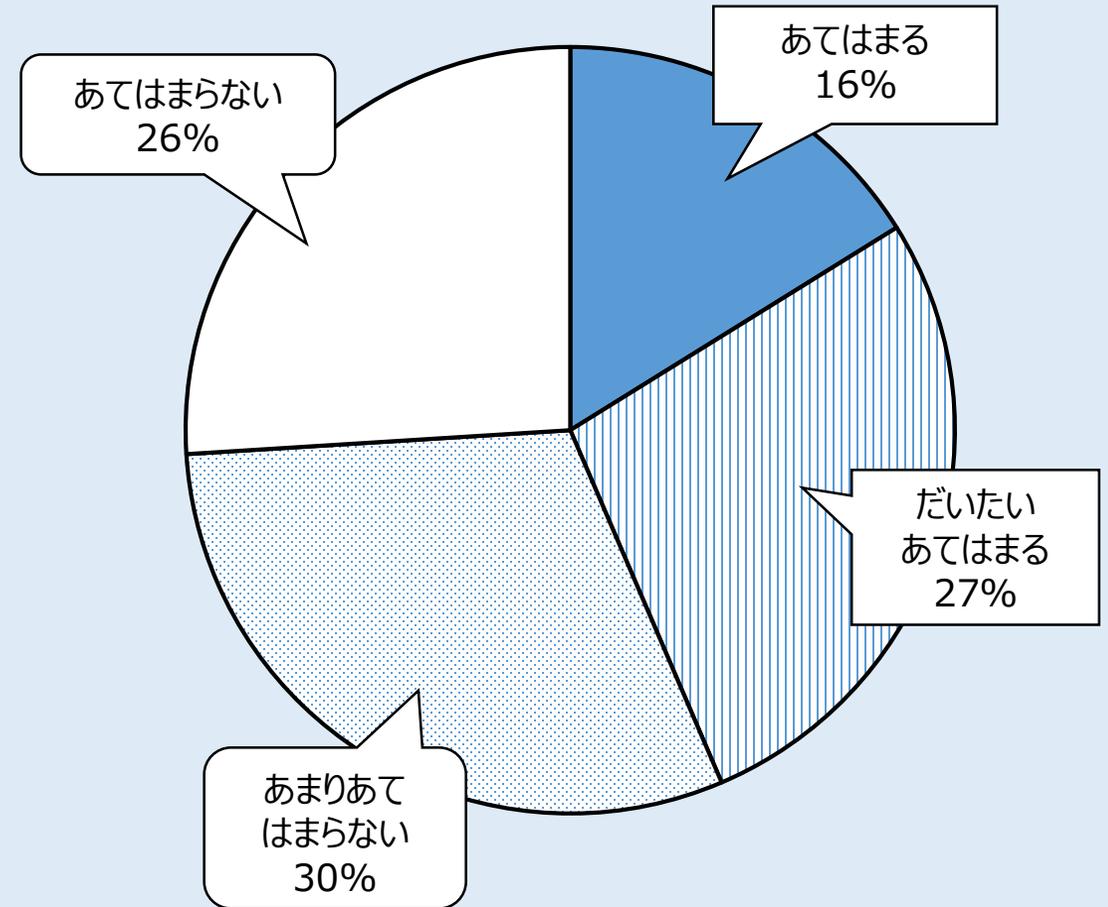


質問6 頭やお腹が痛いなど、体の調子が悪いことがある

小学生

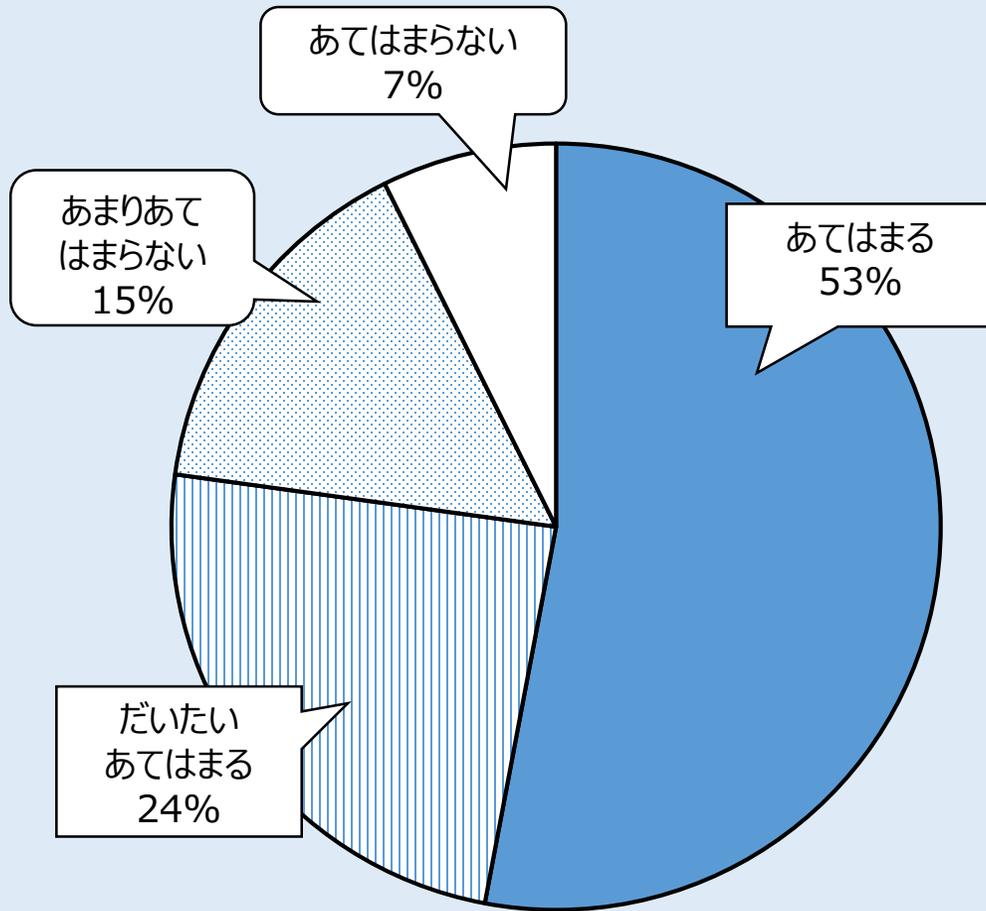


中学生

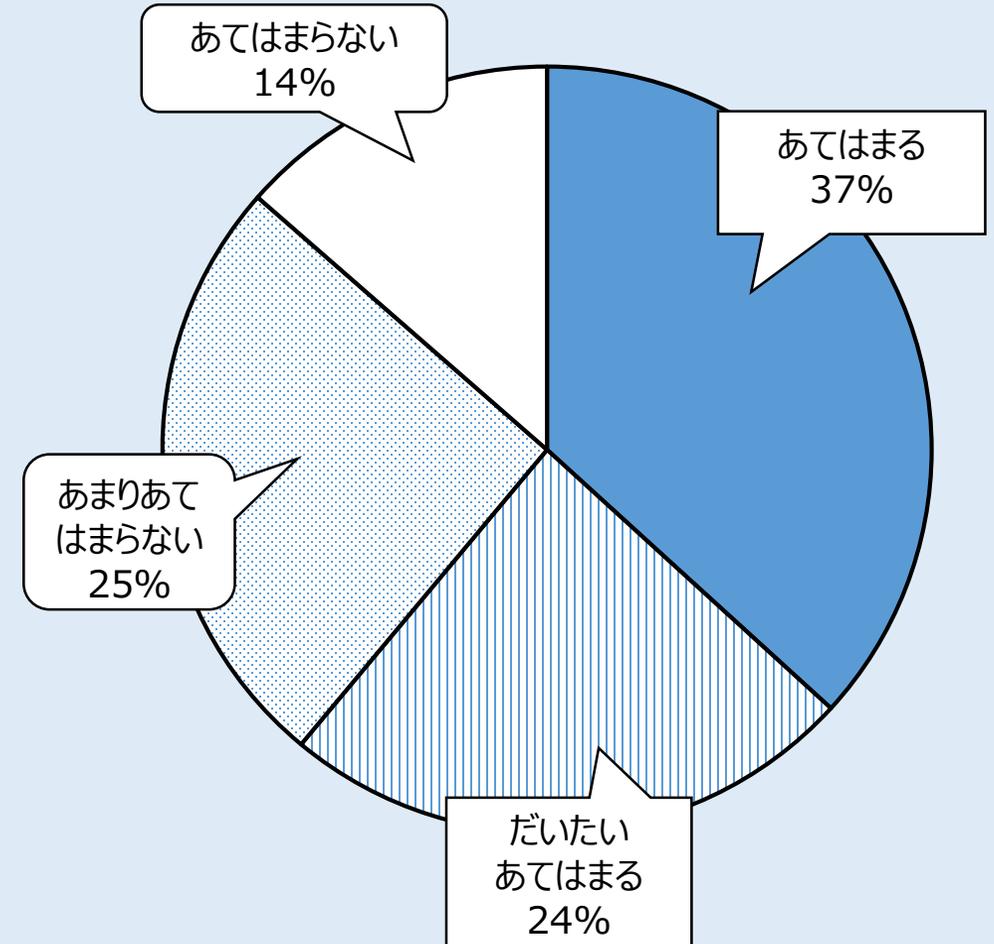


質問7 体を動かすなど、よく運動している

小学生

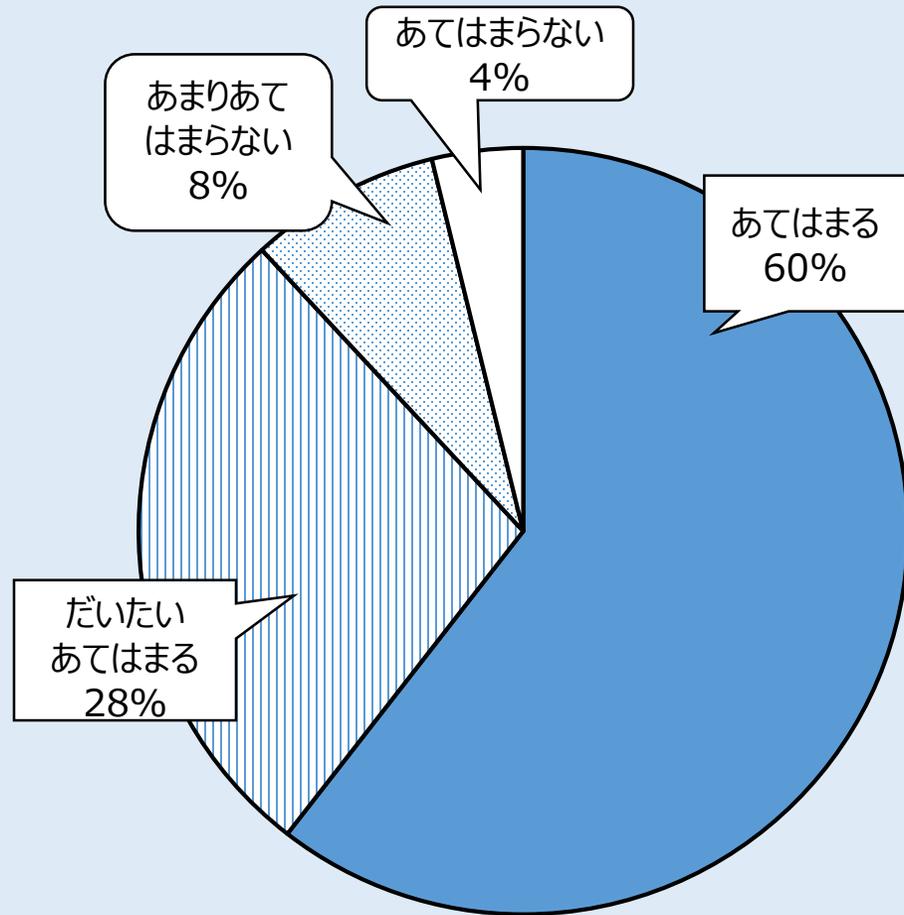


中学生

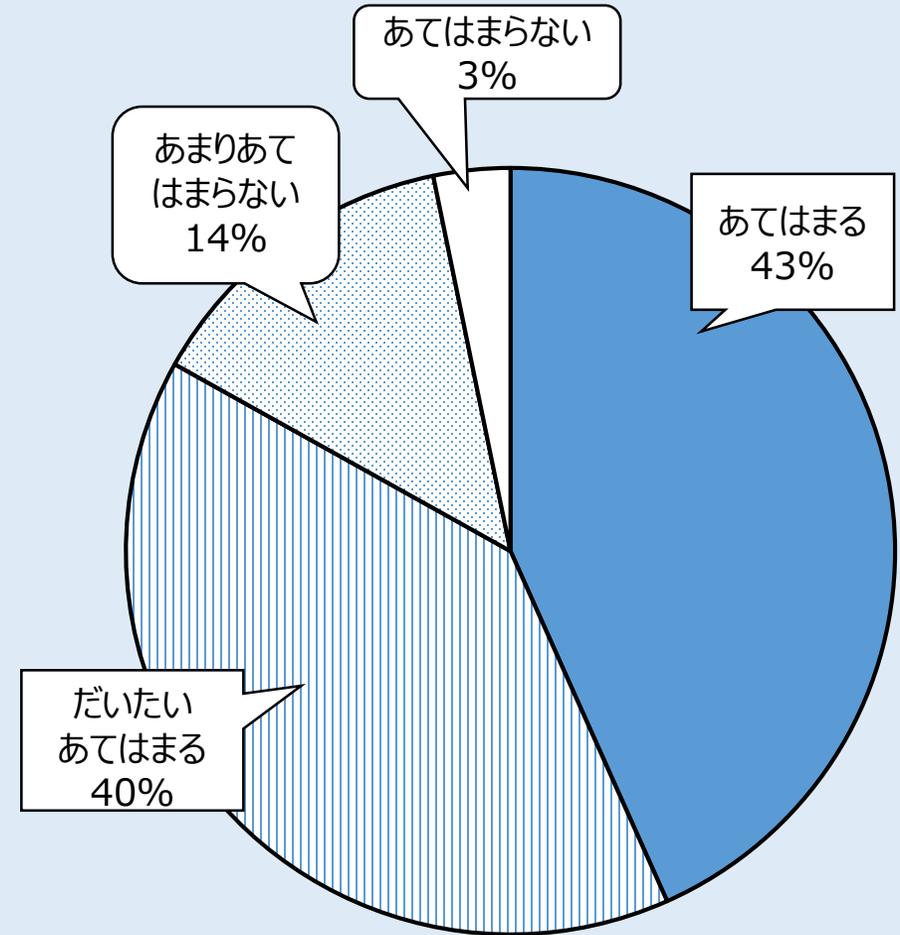


質問 8 毎日が楽しい

小学生

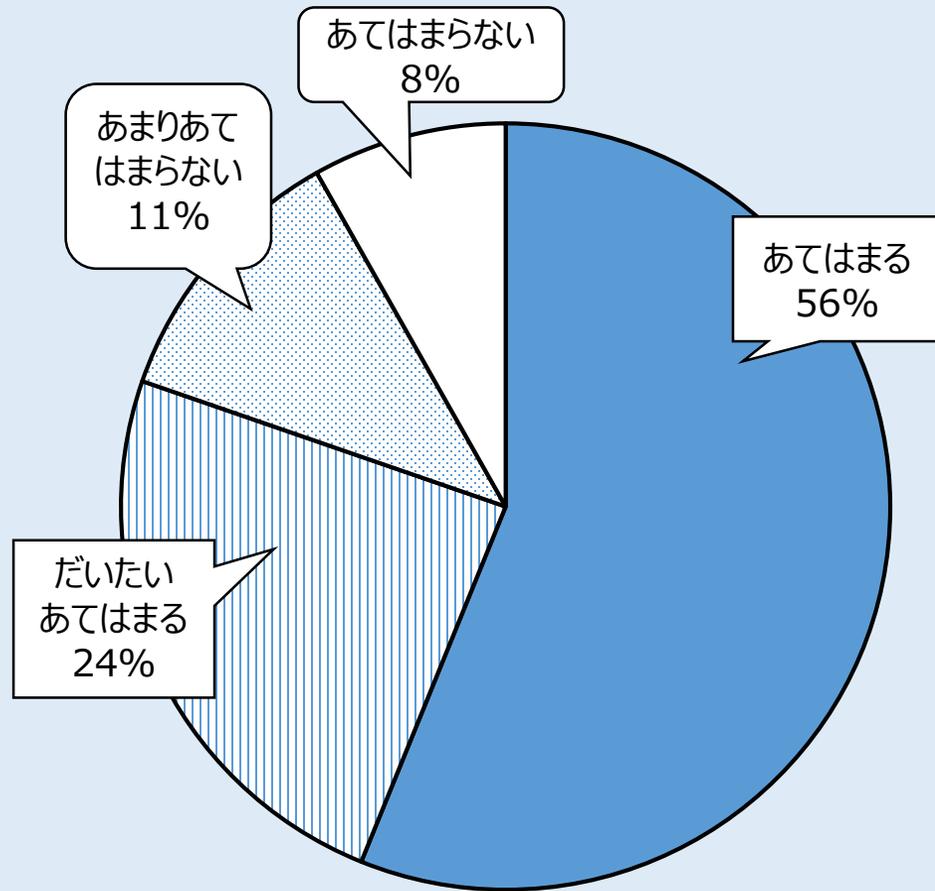


中学生

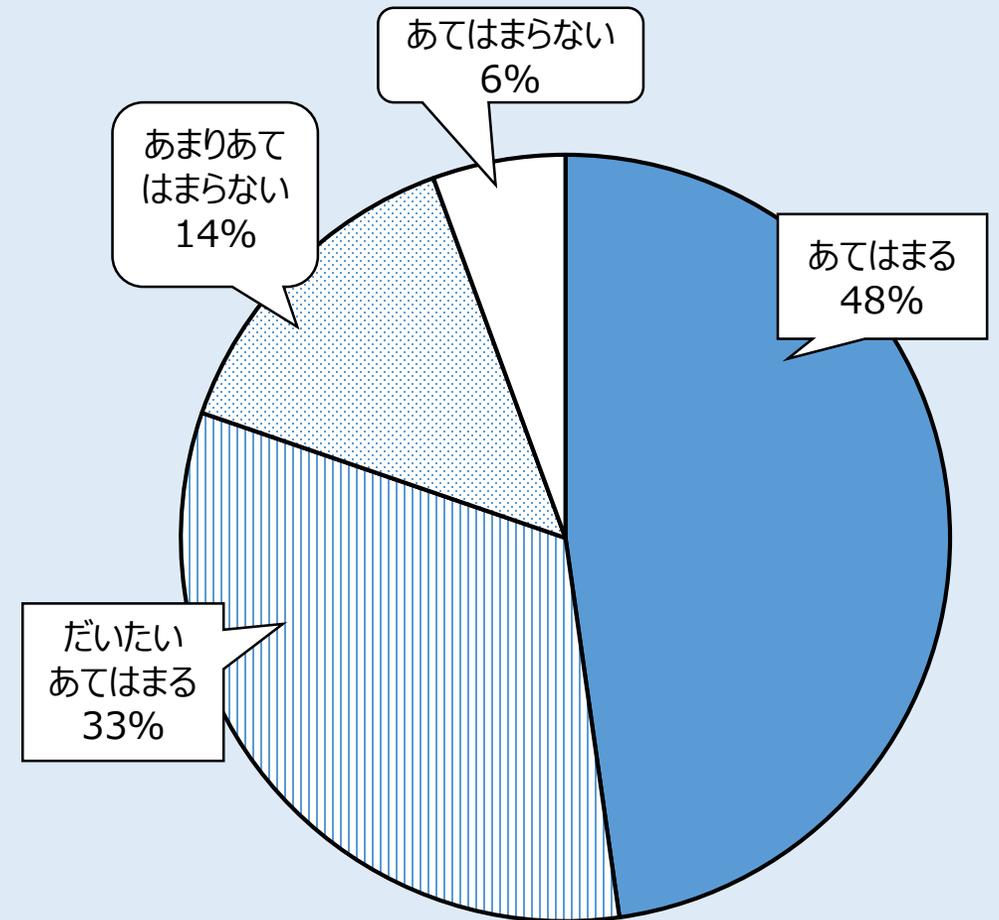


質問9 悩みごとを話せる人や場がある

小学生

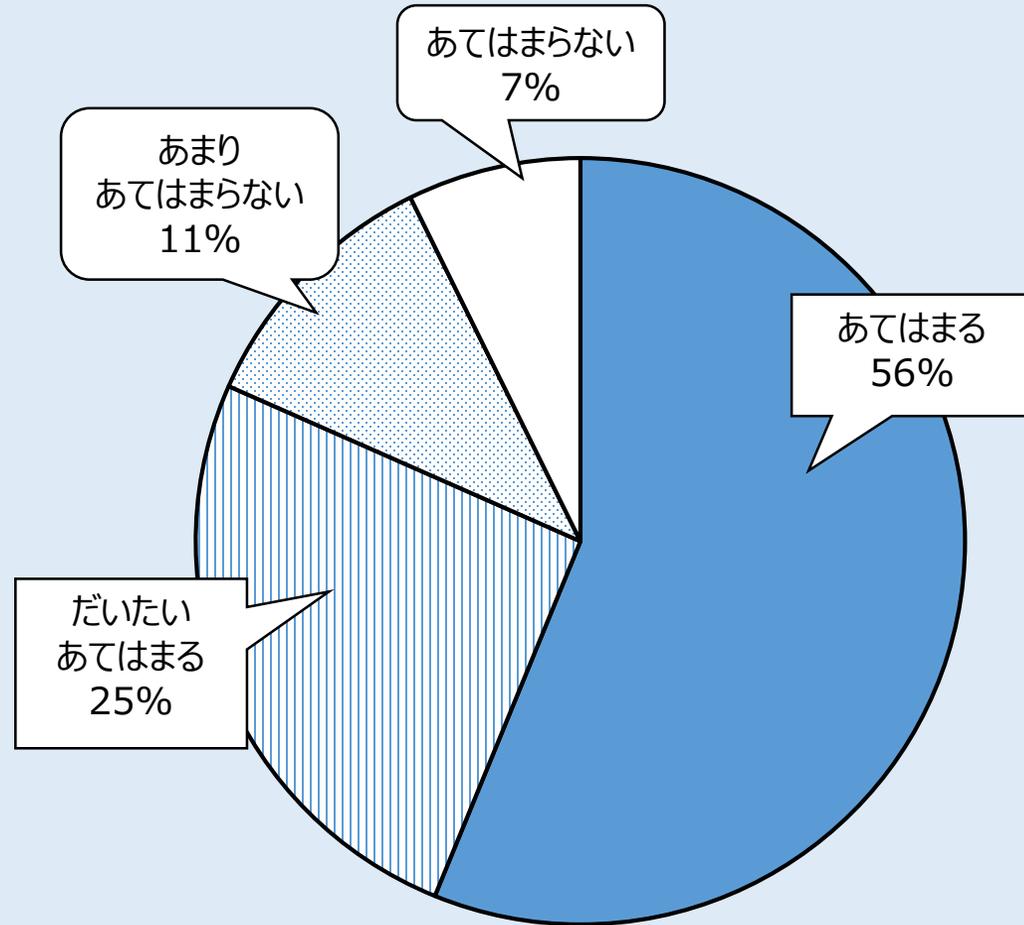


中学生

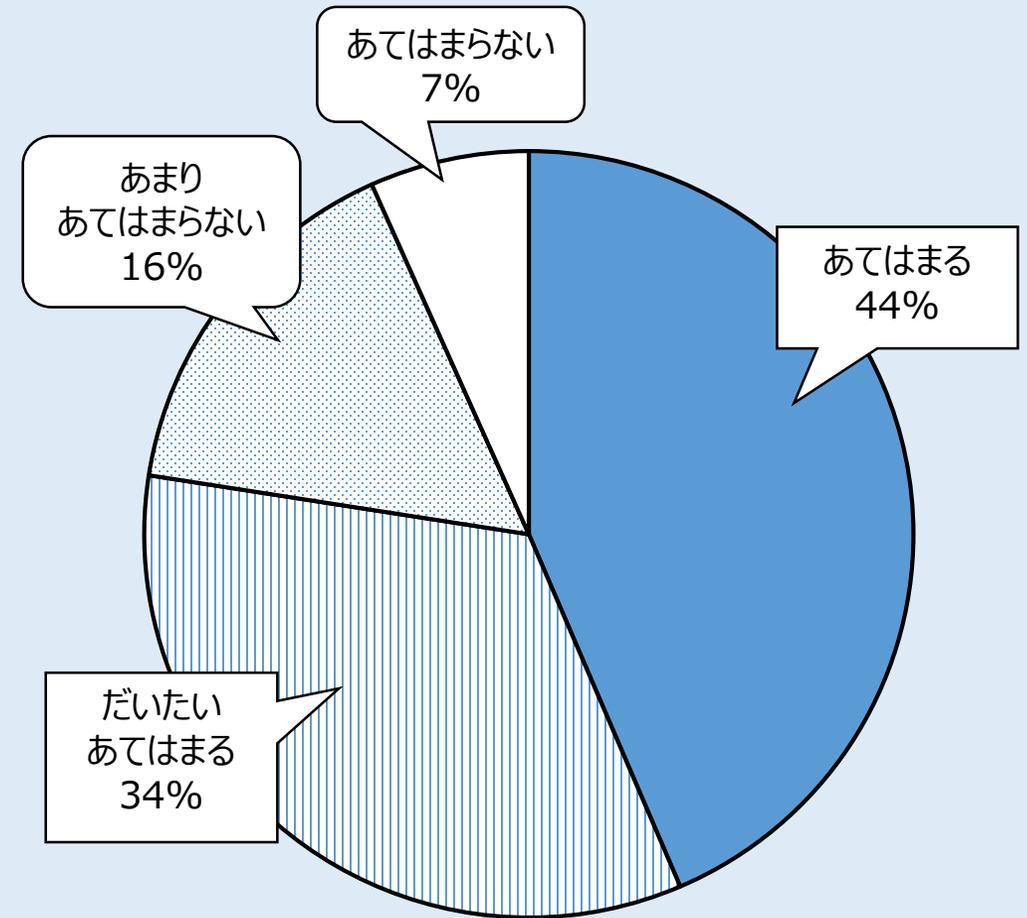


質問10 困ったときに、学校の先生や家の人に頼ることができる

小学生

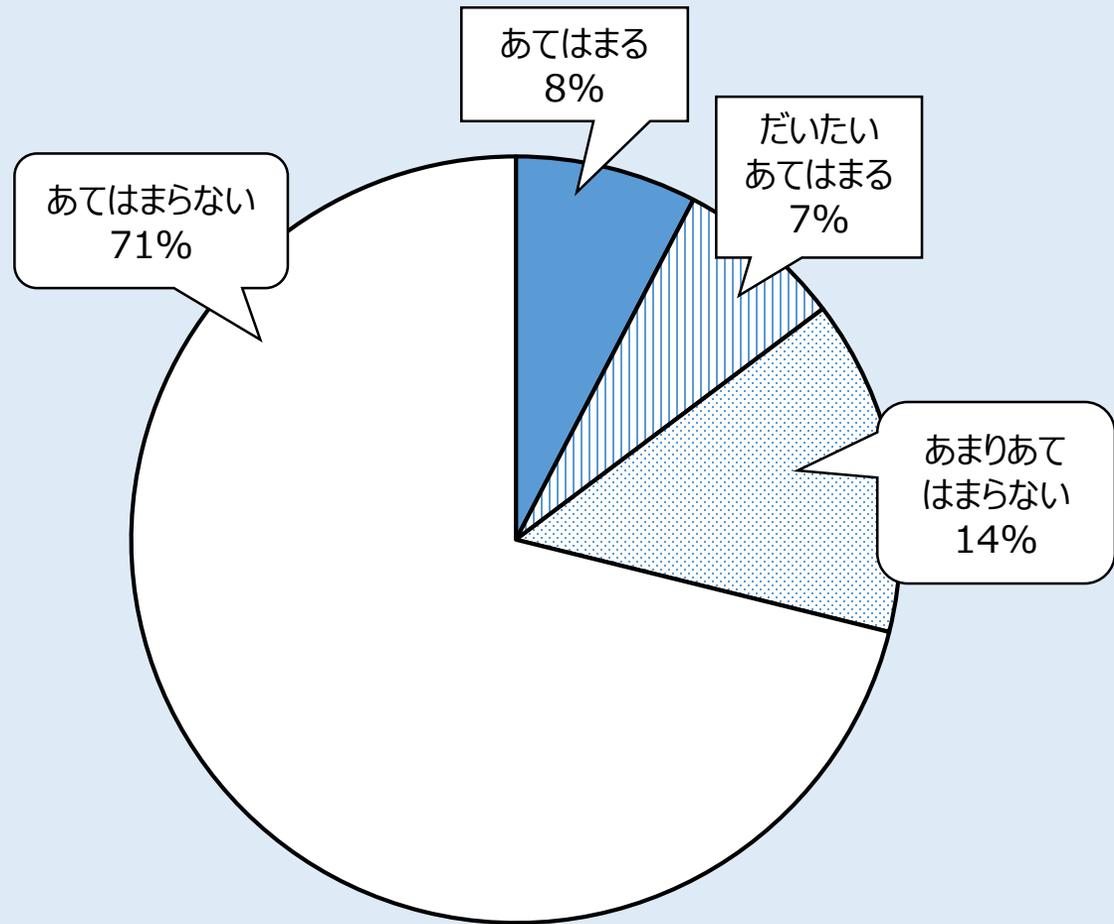


中学生

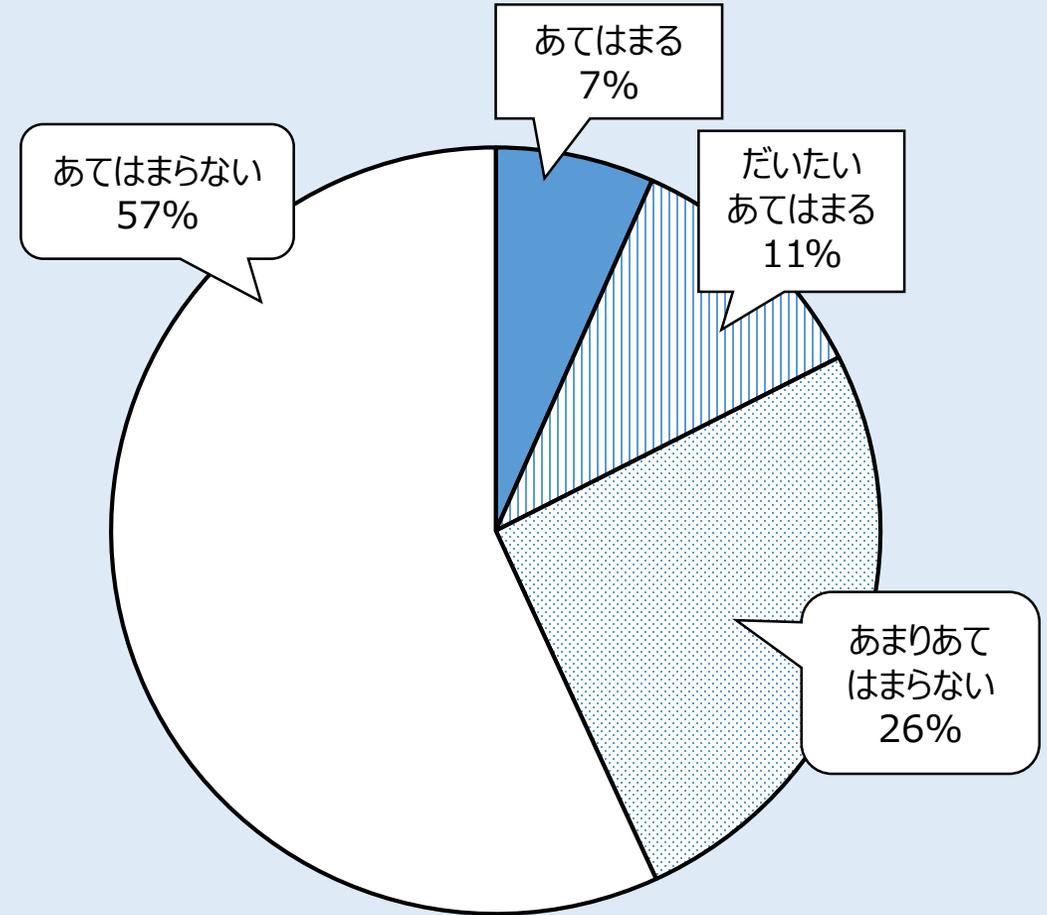


質問 1 1 学校や家で何か不安を感じたことがある

小学生

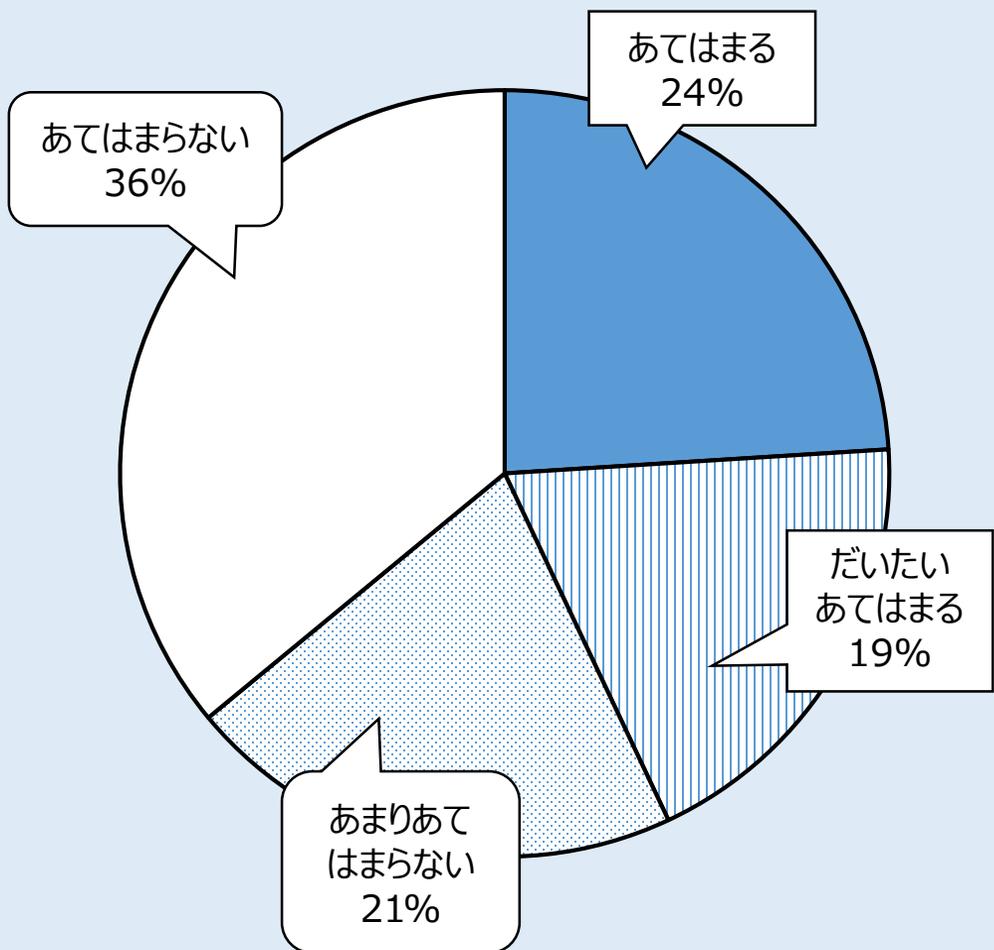


中学生

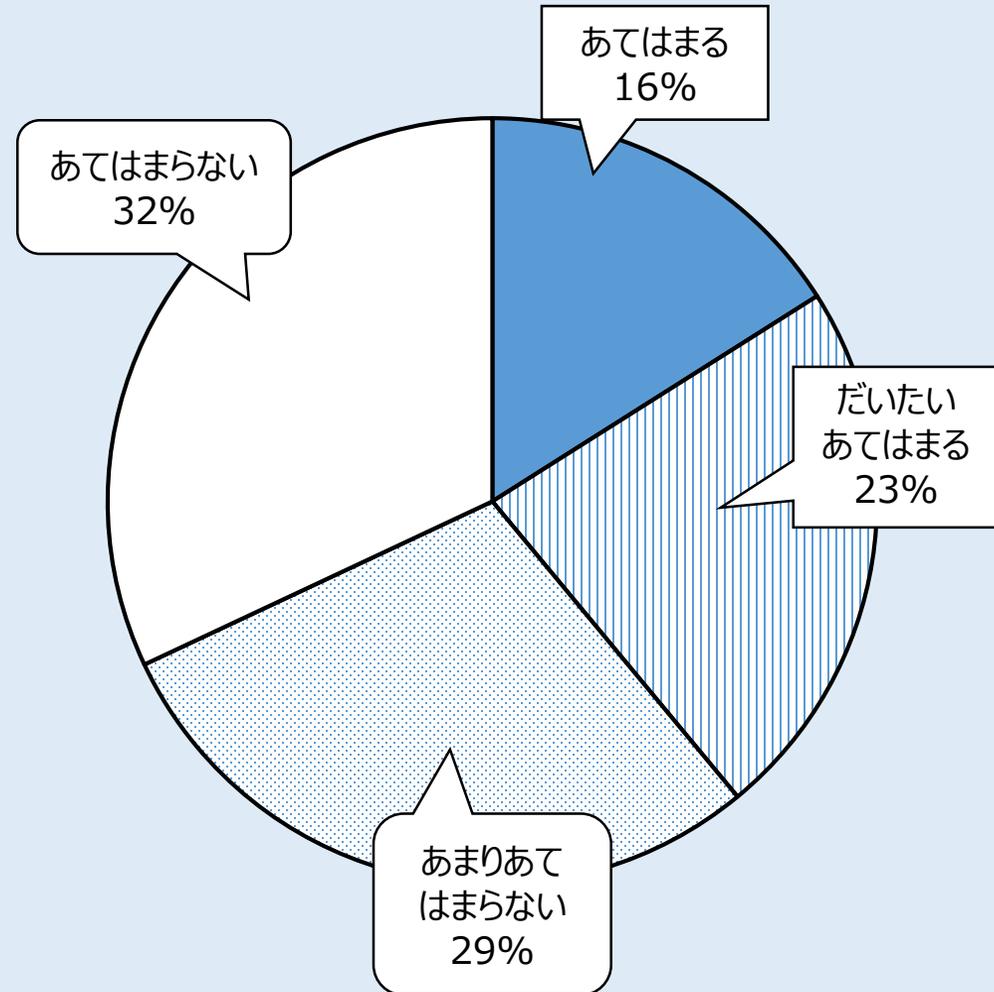


質問 1 2 常にマスクをしていないと不安である

小学生



中学生



結果のまとめ

①大項目の結果について

- ・昨年度からの結果と照らし合わせると、小学生においては、気持ちの安定度や生活の安定度が高まっており、年間の傾向として1学期→2学期→3学期と時期によって徐々に高まっていくことが分かりました。
- ・昨年度からの結果と照らし合わせると、小学生、中学生ともに援助希求行動に関する質問において、ポジティブな回答が徐々に増加しており、小学生はこの2年間8%程度増加しています。

②小項目ごとの結果について

- ・上記の援助希求行動に関して、小学生は質問9「悩みごとを話せる人や場がある」において、中学生は質問10「困ったときに、学校の先生や家の人に頼ることができる」において、ポジティブな回答が増加している傾向がありました。
- ・質問12「常にマスクをしていないと不安である」で、小学生では1%、中学生では2%程度不安が増加していました。若干の変化ではありますが、2学期は感染者数が落ち着いてきている時期に、3学期は感染者数が増えている時期であったことが、増加の要因の1つとにあったと考えられます。

③実施後の取組

- ・アンケート調査結果と分析を前回との比較も含め市立小中学校教員へフィードバック
- ・学校で教員が、個々の子ども達のアンケート結果を踏まえ、声かけや日常の様子を見守る
- ・SOSを発信しにくい子どもたちとの信頼関係づくりのためのアクションプランの継続
⇒前回から追加した6つの視点を教員に向けて提示